

身体的拘束最小化に関する当院の方針と取り組みについて

1、基本方針

「私達は身体的拘束廃止に向けて最大限努力します」

「私達は身体的拘束ゼロ及びサービスの質の向上を目指して実績を蓄積していきます」

「私達は自信をもって提供できるサービスを目指し、組織をあげて身体的拘束廃止に取り組みます」

- 1) 身体的拘束は廃止すべきものです
- 2) 廃止に向けて常に努力します
- 3) 安易に「やむを得ない」で身体的拘束を行いません
- 4) 身体的拘束を許容する考え方はやめるべきです
- 5) 全員の強い意志で『チャレンジ』します(ケアの本質を考える)
- 6) 創意工夫を忘れないようにします
- 7) 患者・利用者の人権を一番に考慮します
- 8) サービスの提供に誇りと自信を持って行動します
- 9) 身体的拘束廃止に向けてありとあらゆる手段を講じるよう努力します
- 10) やむを得ない場合は患者・利用者・家族に十分な説明をもって身体的拘束を行います
- 11) 身体的拘束を行った場合、常に廃止する努力を怠りません(常にゼロを目指す)

2、取り組み内容

- (1) 管理者による方針の明確化と全職員への周知
- (2) 身体的拘束最小化チームの設置
 - ① 2ヶ月に1回の委員会開催
 - ② 身体的拘束の実施状況を把握し、管理者を含む職員に定期的に周知徹底
 - ③ 身体的拘束最小化のための指針及びマニュアルの作成、職員への周知と活用
 - ④ 入院患者及び入所者に係わる全ての職員を対象とした身体的拘束の最小化に関する研修(年2回以上)
 - ⑤ 身体的拘束に使用する用具の一元管理と使用状況・解除に向けた検討状況の把握
 - ⑥ 身体的拘束を行われている患者・入所者の病棟・療養棟への定期的な巡回と、解除に向けた具体的な検討・提案
 - ⑦ 身体的拘束を行わずにケアするための用具の導入について検討し病院に提言する
- (3) 身体的拘束が実施される可能性のある患者・入所者への説明と意向の聴取
- (4) 院内掲示・Webでの身体的拘束最小化に関する情報公開